

(独) 産業技術総合研究所「産総研における女性研究者の活躍支援」

～一人ひとりが能力を存分に発揮できる研究組織を目指して～

産業技術総合研究所(産総研)は、日本の産業を支える環境・エネルギー、ライフサイエンス、情報通信・エレクトロニクス、ナノテクノロジー・材料・製造、計測・計量標準、地質の6分野の研究を行う我が国最大級の公的研究機関です。本部を東京とつくばに置き、全国に研究拠点(北海道、東北、福島、つくば、臨海副都心、中部、関西、中国、四国、九州)を配置しています。平成18年2月に「産業技術総合研究所男女共同参画宣言」を出し、職員が個人の能力を存分に発揮できる環境の実現に向けた取組を行っています。同年4月に男女共同参画室(現ダイバーシティ推進室)を設置し、翌年、JST女性研究者支援モデル育成事業に「女性研究者グローバルエンカレッジ(平成19～21年度)」の課題が採択され、女性研究者の支援が加速されました。

◆科学技術振興調整費「女性研究者グローバルエンカレッジ」とその後の展開

本事業においては、意欲触発支援および実践支援を2つの柱とした取組を実施しました。意欲触発支援として、エンカレッジ研修、各種セミナー、ロールモデルとの懇談会・エッセイ集発刊、キャリア形成支援等を実施し、実践支援として、柔軟な勤務形態と休暇制度の拡充等の職場環境整備を図り、育児および介護支援等のワーク・ライフ・バランス支援を行いました。

事業終了後も支援を継続し、休暇制度の改善・拡充等、職場環境の整備の充実を図りました。また、平成23年度のダイバーシティ推進室への改編により、性別、年齢、国籍等にかかわらず、個人の能力を存分に発揮できる環境の実現を目指し、活動を続けています。産総研の「第3期中期目標期間(平成22年～26年度)におけるダイバーシティの推進策」では、「1. 多様性活用(ダイバーシティ)意識の啓発・浸透、2. 女性研究者及び外国人研究者の積極的な採用・活用、3. キャリア形成における共同参画のための方策、4. 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)のための支援、5. 国、自治体及び他の研究教育機関等との連携、6. 多様性活用(ダイバーシティ)の総合推進」の6つのアクションプランを掲げています。女性研究者の活躍支援として、積極的な採用、研修、セミナー、シンポジウム、ロールモデルとの懇談会、キャリア形成支援等を実施しています。ワーク・ライフ・バランス支援として、柔軟な勤務形態、仕事と育児・仕事と介護の両立支援を図り、職員のさまざまなライフイベントに柔軟に対応できるようにして、男女を問わず働きやすい職場環境を整えています。こうした取組により産総研では平成13年の発足以来、結婚、出産、特に育児を理由に退職した女性研究者は報告されていません。

◆ダイバーシティ・サポート・オフィス(DSO)

DSOは、科振費の支援のもと、平成19年9月に産総研を主宰機関とするコンソーシアムとして設立されました。課題終了後もメンバーのイコールパートナーシップで運営される開かれたDSOとして活動を続けており、現在21研究教育機関が参画しています。懇話会やシンポジウム等による情報や意見の交換の場の提供、ニュースレターの発行、各種イベントの開催と相互参加等の活動を通し、男女共同参画を連携して行っています。

【連絡先】 独立行政法人 産業技術総合研究所 総務本部ダイバーシティ推進室
TEL : 029-862-6418 FAX : 029-862-6882 E-mail : diversity-web-ml@aist.go.jp
URL : <http://unit.aist.go.jp/diversity/>

～一人ひとりが能力を存分に発揮できる研究組織を目指して～

産総研は、日本の産業を支える多様な6分野の研究を行う我が国最大級の公的研究機関です。本部を東京とつくばに置き、全国に研究拠点（北海道、東北、福島、つくば、臨海副都心、中部、関西、中国、四国、九州）を配置しています。平成18年2月に「産業技術総合研究所男女共同参画宣言」を出し、職員が個人の能力を存分に発揮できる環境の実現に向けた取組を行っています。同年4月に男女共同参画室（現ダイバーシティ推進室）を設置し、翌年、女性研究者支援モデル育成事業に「女性研究者グローバルエンカレッジング（平成19～21年度）」の課題が採択され、女性研究者の支援が加速されました。

「産総研第3期中期目標期間（平成22～26年度）におけるダイバーシティの推進策」アクションプラン

1. 多様性活用（ダイバーシティ）意識の啓発・浸透
2. 女性研究者及び外国人研究者の積極的な採用・活用
3. キャリア形成における共同参画のための方策
4. 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）のための支援
5. 国、自治体及び他の研究教育機関等との連携
6. 多様性活用（ダイバーシティ）の総合推進

「女性研究者グローバルエンカレッジング」（平成19～21年度）

意欲触発支援

- ・エンカレッジング研修、セミナー
- ・ロールモデル提示（懇談会、エッセイ集）等
- ・キャリア形成支援

実践支援

- ・職場環境整備
- －柔軟な勤務形態と休暇制度の拡充等
- ・ワーク・ライフ・バランス支援
- －育児実践支援、介護支援等

ダイバーシティ推進

事業概要

■女性研究者活躍支援■

- ・女性研究者の採用
 - －女性研究者の新規採用15%以上の確保、更なる向上（平成26年4月現在目標期間累計16.8%）
- ・研修・セミナー・シンポジウム
 - －「広がるダイバーシティと日本を元気にするイノベーション」（平成25年7月、東京、日本経済新聞社と共催）
 - －「世界で活躍できる女性研究者エンジニア」（平成25年7月、つくば、研究・技術計画学会/女性エンジニア活生分科会と共催）等
- ・ロールモデルとの懇談会
- ・キャリア形成支援

■ワーク・ライフ・バランス支援■

- ・柔軟な勤務形態
 - －裁量労働制、フレックスタイム制
 - －特別休暇等
- ・仕事と育児の両立支援
 - －一時預かり保育制度
 - －育児特別休暇
- ・仕事と介護の両立支援
 - －介護に関するセミナー
 - －ウェブ情報提供
 - －介護休暇

ダイバーシティ・サポート・オフィス (DSO)

DSOは、科振費の支援のもと、平成19年9月に産総研を主宰機関とするコンソーシアムとして設立されました。課題終了後もメンバーのイコールパートナーシップで運営される開かれたDSOとして活動を続けており、現在21研究教育機関が参加し、連携して男女共同参画を推進しています。

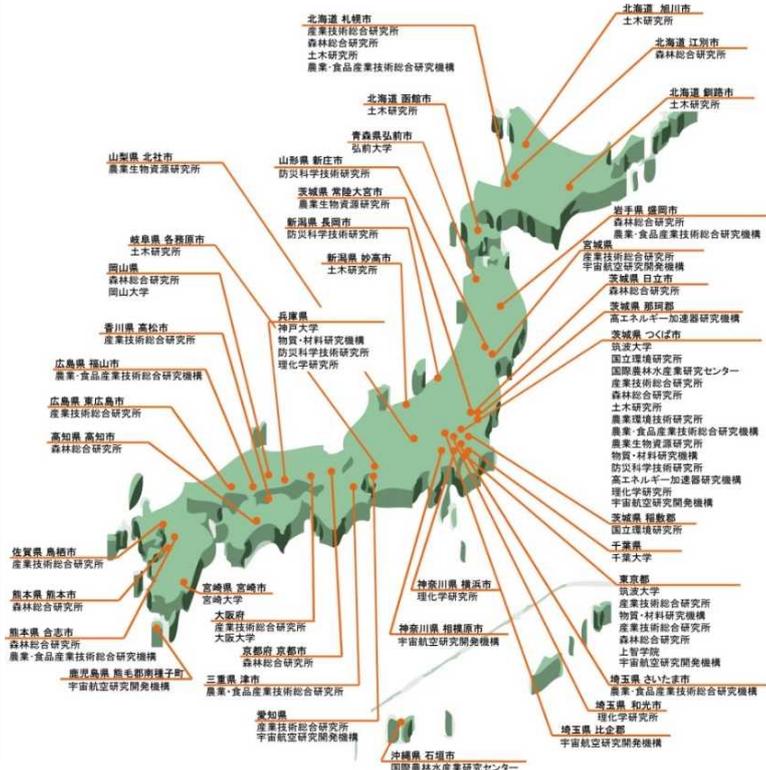
主な活動

- ・懇話会（各機関の担当者が集まりテーマを決めて情報交換。テーマ例：勤務制度、女性研究者の活躍支援等）
- ・ニュースレター発行（イベントや講演会の紹介・報告、関連情報の提供等）
- ・イベントの相互参加（セミナー・シンポジウム等）
- ・女性研究者ロードマップ（多数のキャリアパスをイメージしたデータベース）

参加機関

産業技術総合研究所、森林総合研究所、物質・材料研究機構、農業環境技術研究所、千葉大学、筑波大学、神戸大学、農業・食品産業技術総合研究機構、土木研究所、国立環境研究所、国際農林水産業研究センター、農業生物資源研究所、防災科学技術研究所、高エネルギー加速器研究機構、理化学研究所、宮崎大学、上智学院、弘前大学、岡山大学、宇宙航空研究開発機構、大阪大学（平成26年10月末現在、加入順）

DSO参加 21 研究教育機関 全国拠点マップ



【連絡先】 独立行政法人 産業技術総合研究所 ダイバーシティ推進室

TEL: 029-862-6418 FAX: 029-862-6882 E-mail: diversity-web-ml@aist.go.jp URL: <http://unit.aist.go.jp/diversity/>

<http://unit.aist.go.jp/diversity/>, diversity-web-ml@aist.go.jp